



国民春闘共闘

2026年度 第25号
2026年8月6日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

26年・第4回夏季一時金集計（最終）

単純平均 1.91 カ月 584,624 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は7月30日、2026年最終となる第4回目の夏季一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2026年	2025年同期
回答引き出し組合	1052	1109
うち 妥結組合	615(58.5%)	706(63.7%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2026年回答	25年同期	同期比
単純平均	月数	1.91	1.90	+0.01
	額(円)	584,624	603,096	-18,472
加重平均	額(円)	573,074	600,027	-26,953
	組合員数	159,753	154,645	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	26年回答	25年実績	実績比
単純平均	月数	817	673(82.4%)	253(31.0%)	1.93	1.92	+0.01
	金額	414	303(73.2%)	263(63.5%)	606,944	592,511	+14,433

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	0.699	1.271	0.424	1.117
	前年同期	0.762	1.244	0.493	1.248
	額(円)	71,632	234,695	81,383	137,990
	前年同期	78,555	241,605	107,159	109,448

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

＜集計結果の概要＞

回答引き出し・妥結状況

7月30日に実施した2026年夏季一時金最終集計となる第4回集計は、別表の25単産・部会での集計となりました（前年最終集計2025年7月31日：25単産・部会）。

回答引出し組合は1839組合のうち1052組合(57.2%)で、前年最終集計の1109組合(58.3%)を1.1割下回りました。

春闘期に夏季一時金交渉を行った組合も含めて、回答引出し組合の13.9%となる146組合が数次の上積み回答を引き出しています。民放労連の1組合が6次回答、日本医労連の1組合が5次回答を引き出したのをはじめ、4次回答7組合（JMITU：6、映演労連：1）、3次回答21組合（JMITU：10、化学一般労連、全倉運、生協労連の卸売・小売：各2、全印総連、民放労連、映演労連、日本医労連・医療、日本医労連・福祉：各1）、2次回答116組合となっています。

回答引出し組合のうち615組合が妥結・収拾方向となっており、妥結率は58.5%です。前年最終集計706組合（63.7%）を5.2割下回っています。とりわけ、報酬改定が6月となった医療分野での解決が遅れています。

回答内容

回答月数が判明している931組合での単純平均（一組合あたりの平均）は1.91ヵ月で、前年最終集計の1.90ヵ月（979組合平均）を0.01ヵ月上回りました。

このうち、民放労連の組合が9.3ヵ月の回答を引き出したのをはじめ、5ヵ月以上6ヵ月未満4組合（前年最終4組合）、4ヵ月以上5ヵ月未満11組合（同12組合）、3ヵ月以上4ヵ月未満44組合（同52組合）、2ヵ月以上3ヵ月未満365組合（同380組合）、2ヵ月未満506組合（同530組合）となっています。

金額回答のあった468組合での単純平均額は584,624円となり、前年最終集計の603,096円（537組合平均）を18,472円下回りました。加重平均額（組合員一人あたりの平均）は573,074円で、前年最終集計を26,953円下回っています。

出版労連の1組合が200万円超の回答を引き出し（前年最終4組合）、100万円以上200万円未満が39組合（同51組合）、50万円以上100万円未満が223組合（同255組合）、50万円未満が205組合（同227組合）となっています。

前年実績比較可能な組合を見ると、月数では817組合の単純平均で今期は1.93ヵ月と前年実績1.92ヵ月を0.01ヵ月上回っています。このうち253組合（31.0%）が前年実績を上回り、420組合（51.4%）が前年同月数を確保しています。

金額では414組合の単純平均で606,944円と前年実績592,511円を14,433円上回り、引上げ率は2.44%となっています。263組合（63.5%）が前年実績額を超える水準となっています。

全体で回答月数は前年同水準の結果となりましたが、回答金額は前年最終集計を下回りました。金額回答組合数が前年最終集計から減少し、前年実績で高額回答を引き出した組合で前年同水準以上の月数を獲得しているものの金額が判明していないことなどが影響しています。一方で、前年実績比較可能組合を見ると、春闘での賃上げ結果が夏季一時金に一定反映していることが伺えます。

回答月数の単純平均を産業別に見ると、鉱業・建設（2.05 ヲ月）、製造（2.24 ヲ月）、運輸・通信（2.19 ヲ月）、マスコミ関係（2.29 ヲ月）が 2 ヲ月以上となっています。農林水産（1.69 ヲ月）、卸売・小売（1.69 ヲ月）、医療（1.67 ヲ月）、社会福祉・介護（1.62 ヲ月）では厳しい回答状況となっています。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金は、別表の 10 単産 173 組合から報告が寄せられています。

このうち、パート、アルバイトなど時給制労働者の一時金獲得は 163 件となっています。月数報告のあった 111 件での単純平均は 0.699 ヲ月で、前年最終集計（2025 年 7 月 31 日現在）の 0.762 ヲ月（119 件）を下回っています。また、金額報告のあった 50 件の単純平均は 71,632 円で、前年最終 78,555 円（51 件）を 6,923 円下回りました。前年実績と比較可能な組合での単純平均を見ると、月数でマイナス 0.018 ヲ月、金額でプラス 6,998 円となっています。

臨時、契約などの月給制労働者では 108 件の一時金獲得となっています。単純平均月数は 76 件平均で 1.271 ヲ月となり、前年最終 1.244 ヲ月（104 件）を 0.027 ヲ月上回りました。金額では 46 件平均 234,695 円で、前年最終 241,605 円（37 件）を 6,910 円下回っています。前年実績比較可能な組合での単純平均比較では、月数でマイナス 0.005 ヲ月、金額でプラス 1,956 円です。

継続雇用者では、時給制労働者は生協労連 16 件、日本医労連 1 件の計 17 件の獲得で、単純平均 0.424 ヲ月（12 件）、81,383 円（7 件）です。前年実績比較可能な組合での単純平均比較では、月数で 0.003 ヲ月、金額で 11,970 円のプラスとなっています。

月給制継続雇用は 41 件獲得で、単純平均 1.117 ヲ月（24 件）、137,990 円（13 件）です。前年実績比較可能な組合での単純平均比較では、月数で 0.071 ヲ月、金額で 5,268 円のプラスとなりました。